

サブドレン核種分析結果<1/6>

(データ集約：7/2)

採取場所	福島第一 2号機サブドレン	福島第一 1号機サブドレン
試料採取日	平成25年4月15日	平成25年4月15日
検出核種 (半減期)	試料濃度 (Bq/cm ³)	
I-131 (約8日)	ND	ND
Cs-134 (約2年)	1.9E-01	1.8E-01
Cs-137 (約30年)	4.4E-01	3.8E-01
H-3 (約12年)	5.1E-01	9.3E+01
全	ND	ND
全	8.0E-01	3.9E-01
Sr-89 (約51日)	ND	ND
Sr-90 (約29年)	1.5E-01	3.1E-03

NDとは、 $< 2 \times 10^{-2}$ と同じ意味である。

I-131, Cs-134, Cs-137については、平成25年4月16日, H-3, 全, 全 については、平成26年6月6日公表。
本分析における放射能濃度の検出限界値を下回る場合は、「ND」と記載。検出限界値は次のとおり。

I-131が約 2×10^{-2} Bq/cm³, 全 が約 1×10^{-4} Bq/cm³, Sr-89が約 5×10^{-1} Bq/cm³。

ただし、検出限界値は検出器や試料性状により異なるため、この値以下でも検出される場合もある。

(評価)

H-3, 全 放射能, Sr-90が検出されており、今回の事故による影響と考えられる。

サブドレン核種分析結果<2/6>

(データ集約：7/2)

採取場所	福島第一 2号機サブドレン	福島第一 3号機サブドレン
試料採取日	平成25年5月13日	平成25年5月13日
検出核種 (半減期)	試料濃度 (Bq/cm ³)	
I-131 (約8日)	ND	ND
Cs-134 (約2年)	2.5E-01	2.7E-02
Cs-137 (約30年)	5.1E-01	3.8E-02
H-3 (約12年)	7.3E-01	1.9E-02
全	ND	ND
全	1.3E+00	5.3E-02
Sr-89 (約51日)	ND	ND
Sr-90 (約29年)	2.9E-01	ND

NDとは、 $< 1.0 \times 10^{-1}$ と同じ意味である。

I-131, Cs-134, Cs-137については、平成25年5月14日, H-3, 全, 全 については、平成26年6月6日公表。

本分析における放射能濃度の検出限界値を下回る場合は、「ND」と記載。検出限界値は次のとおり。

I-131が約 $2E-2$ Bq/cm³, 全 が約 $1E-4$ Bq/cm³, Sr-89が約 $5E-1$ Bq/cm³, Sr-90が約 $5E-4$ Bq/cm³。

ただし、検出限界値は検出器や試料性状により異なるため、この値以下でも検出される場合もある。

(評価)

H-3, 全 放射能, Sr-90が検出されており、今回の事故による影響と考えられる。

サブドレン核種分析結果<3/6>

(データ集約：7/2)

採取場所	福島第一 2号機サブドレン	福島第一 4号機サブドレン
試料採取日	平成25年6月10日	平成25年6月10日
検出核種 (半減期)	試料濃度 (Bq/cm ³)	
I-131 (約8日)	ND	ND
Cs-134 (約2年)	1.3E-01	ND
Cs-137 (約30年)	2.9E-01	ND
H-3 (約12年)	2.2E-01	2.3E+00
全	ND	ND
全	6.4E-01	1.5E-02
Sr-89 (約51日)	ND	ND
Sr-90 (約29年)	1.6E-01	ND

NDとは、 $< 1.0 \times 10^{-2}$ と同じ意味である。

I-131, Cs-134, Cs-137については、平成25年6月11日, H-3, 全, 全 については、平成26年6月6日公表。

本分析における放射能濃度の検出限界値を下回る場合は、「ND」と記載。検出限界値は次のとおり。

I-131が約 $1E-2$ Bq/cm³, Cs-134が約 $1E-2$ Bq/cm³, Cs-137が約 $2E-2$ Bq/cm³, 全 が約 $3E-3$ Bq/cm³.

Sr-89が約 $3E-1$ Bq/cm³, Sr-90が約 $5E-4$ Bq/cm³。

ただし、検出限界値は検出器や試料性状により異なるため、この値以下でも検出される場合もある。

(評価)

H-3, 全 放射能, Sr-90が検出されており、今回の事故による影響と考えられる。

サブドレン核種分析結果<4/6>

(データ集約：7/2)

採取場所	福島第一 2号機サブドレン	福島第一 5号機サブドレン
試料採取日	平成25年7月15日	平成25年7月12日
検出核種 (半減期)	試料濃度 (Bq/cm ³)	
I-131 (約8日)	ND	ND
Cs-134 (約2年)	1.5E-01	ND
Cs-137 (約30年)	3.7E-01	ND
H-3 (約12年)	2.1E-01	6.9E-02
全	ND	ND
全	7.6E-01	6.9E-03
Sr-89 (約51日)	ND	ND
Sr-90 (約29年)	1.4E-01	ND

． E ± とは， ． × 1 0 ± と同じ意味である。

I-131，Cs-134，Cs-137については，平成25年7月13日，16日公表，

H-3，全 ，全 については，平成26年6月6日公表。

本分析における放射能濃度の検出限界値を下回る場合は，「ND」と記載。検出限界値は次のとおり。

I-131が約2E-2Bq/cm³，Cs-134が約1E-2Bq/cm³，Cs-137が約2E-2Bq/cm³，全 が約3E-3Bq/cm³，

Sr-89が約2E-1Bq/cm³，Sr-90が約5E-4Bq/cm³。

ただし，検出限界値は検出器や試料性状により異なるため，この値以下でも検出される場合もある。

(評価)

H-3，全 放射能，Sr-90が検出されており，今回の事故による影響と考えられる。

サブドレン核種分析結果<5/6>

(データ集約：7/2)

採取場所	福島第一 2号機サブドレン	福島第一 6号機サブドレン
試料採取日	平成25年8月16日	平成25年8月16日
検出核種 (半減期)	試料濃度 (Bq/cm ³)	
I-131 (約8日)	ND	ND
Cs-134 (約2年)	1.3E-01	ND
Cs-137 (約30年)	3.4E-01	ND
H-3 (約12年)	3.6E-01	2.7E-02
全	ND	ND
全	7.1E-01	4.5E-03
Sr-89 (約51日)	ND	ND
Sr-90 (約29年)	1.0E-01	ND

NDとは、 $< 1.0 \times 10^{-1}$ と同じ意味である。

I-131, Cs-134, Cs-137については、平成25年8月17日, H-3, 全, 全 については、平成26年6月6日公表。
本分析における放射能濃度の検出限界値を下回る場合は、「ND」と記載。検出限界値は次のとおり。

I-131が約 $1E-2$ Bq/cm³, Cs-134が約 $2E-2$ Bq/cm³, Cs-137が約 $2E-2$ Bq/cm³, 全 が約 $1E-4$ Bq/cm³,

Sr-89が約 $9E-2$ Bq/cm³, Sr-90が約 $5E-4$ Bq/cm³。

ただし、検出限界値は検出器や試料性状により異なるため、この値以下でも検出される場合もある。

(評価)

H-3, 全 放射能, Sr-90が検出されており、今回の事故による影響と考えられる。

サブドレン核種分析結果<6/6>

(データ集約：7/2)

採取場所	福島第一 2号機サブドレン	福島第一 5号機サブドレン
試料採取日	平成26年1月10日	平成26年1月10日
検出核種 (半減期)	試料濃度 (Bq/cm ³)	
I-131 (約8日)	ND	ND
Cs-134 (約2年)	1.7E-01	ND
Cs-137 (約30年)	4.4E-01	ND
H-3 (約12年)	4.2E-01	1.8E-02
全	ND	ND
全	1.4E+00	3.7E-03
Sr-89 (約51日)	ND	ND
Sr-90 (約29年)	3.2E-01	3.9E-05

． E ± とは， ． × 1 0 ± と同じ意味である。

I-131，Cs-134，Cs-137については，平成26年1月11日公表。

本分析における放射能濃度の検出限界値を下回る場合は，「ND」と記載。検出限界値は次のとおり。

I-131が約1E-2Bq/cm³，Cs-134が約1E-2Bq/cm³，Cs-137が約2E-2Bq/cm³，全 が約1E-4Bq/cm³，

Sr-89が約4E-4Bq/cm³。

ただし，検出限界値は検出器や試料性状により異なるため，この値以下でも検出される場合もある。

(評価)

H-3，全 放射能，Sr-90が検出されており，今回の事故による影響と考えられる。